

保健センターだより ダニ媒介感染症に注意しましょう

☎保健センター ☎ 52-4999

ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに刺されることによって起こる感染症のことで、中には死亡例が報告されているものもあります。春から秋にかけて、野外活動や農作業など、山や草むらで活動すると、ダニに刺されることがあります。ダニがウイルスや細菌などを保有している場合、刺された人が感染症を発症することがあることから注意が必要です。

■ダニに刺されないために

◇活動前・活動中

①肌の露出を少なくしましょう

- ・長袖長ズボン、帽子や手袋を着用し、首にタオルを巻く。
- ・シャツの裾はズボンの中に、袖口は手袋の中に入れる。ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる。
- ・足を完全に覆う靴をはく。

②ダニに効果のある虫よけスプレーを使いましょう

◇活動後

- ・上着や作業着、手袋や帽子は家の中に持ち込まないようにしましょう。
- ・シャワーや入浴をし、ダニがついていないか確認しましょう。

■ダニに刺された時は

- ・医療機関（皮膚科など）で処置（ダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。吸血中のダニを無理に取り除こうとすると、ダニの一部が皮膚の中に残り化膿したり、ダニの体液を逆流させてしまったりするおそれがあるので、無理に引き抜こうとしないでください。
- ・ダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱や発疹などの症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

（参考：厚生労働省ホームページ）

『高齢者带状疱疹ワクチン』 予防接種を開始します

带状疱疹とは、過去に水痘（水ぼうそう）にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱（水ぶくれ）が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る『带状疱疹後神経痛』があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹は、70歳代で発症する人が最も多くなっています。带状疱疹やその合併症の予防には、ワクチン接種が有効です。

■実施期間 令和9年3月31日（水）まで

■自己負担額

◇組み換えワクチン

6,620円（1回分）×2回

◇生ワクチン

2,660円×1回

※生活保護受給者は無料です。接種時に『診療依頼書』を医療機関へ提示してください。

※対象年齢外の方は全額実費です。

■带状疱疹ワクチン予防接種対象者

今年度右表の年齢となる人

■持参品 予診票と健康手帳（予防接種手帳）

■実施場所 山口県内委託医療機関

※必ず医療機関に予約のうえ、接種してください。

※対象者には、4月下旬に個人通知しています。転入などで届かない場合は、保健センターへご連絡ください。

65歳	昭和36年4月2日生～ 昭和37年4月1日生の人
70歳	昭和31年4月2日生～ 昭和32年4月1日生の人
75歳	昭和26年4月2日生～ 昭和27年4月1日生の人
80歳	昭和21年4月2日生～ 昭和22年4月1日生の人
85歳	昭和16年4月2日生～ 昭和17年4月1日生の人
90歳	昭和11年4月2日生～ 昭和12年4月1日生の人
95歳	昭和6年4月2日生～ 昭和7年4月1日生の人
100歳	大正15年4月2日生～ 昭和2年4月1日生の人
60歳以上 65歳未満の人	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほぼ不可能な人